

信頼される学校であるための行動計画

令和 7 年 4 月
三重県立神戸高等学校

1 生徒・地域・保護者に信頼される開かれた学校づくりをすすめます

- ・鈴鹿地域における唯一の伝統ある進学として、生徒・保護者のニーズや地域の期待に応えることのできる学校、真に必要とされる学校を目指します。
- ・そのために、中学生向け学校説明会や校内での生徒面談、保護者会、学校関係者評価委員会などを通して、本校に対する期待、要望に真摯に耳を傾け、不易流行の精神で学校経営を進めます。
- ・学校の発信力をさらに強化し、保護者や地域、中学生への「学校の見える化」を推進するため、特に現在のHP等で積極的に発信します。

2 職員のコンプライアンス意識を高めます

- ・学校信頼向上委員会や職員会議等の機会を通じて、県内で発生したコンプライアンス違反の具体事例を挙げるなど、より個々の問題ととらえられるよう効果的に注意喚起します。コンプライアンス・ミーティングを年1回以上実施します。
- ・体罰、各種ハラスメント、及び飲酒運転の根絶、公務の適正処理、その他法令遵守を目指し、定期的にセルフチェックを実施します。職員セルフチェックを年3回以上実施し、体罰に関する生徒アンケートを併せて実施します。
- ・校内のICT環境が目まぐるしく変化し複雑になっていく状況の中で、あらためて個人情報の適切な取り扱いなど情報セキュリティについて徹底します。

3 風通しが良く、働きがいのある学校職場をめざします

- ・職員同士が「おたがいさま」の気持ちを持ち、相談や意見交換がしやすい雰囲気づくりに努めます。
- ・年度末(3月)において、職員に対する年度末総括のアンケートを実施し、丁寧に職員の意見をくみ上げ、できることから改善に結びつけます。